

第9回日本義務教育学会研究大会二次案内

○期 日 令和7年11月15日(土) 9時30分～16時30分

○場 所 義務教育学校品川区立品川学園

品川区北品川3丁目9番30号 TEL:03-3474-2671

京浜急行新馬場駅下車徒歩6分

○時 程

【会場準備】(8:30)……事務局員は8:30集合 役員・理事は8:50迄に集合

受付等、全体会場、分科会会場、控室、表示全般

【受付】(9:00～9:30)

1階正面玄関

【開 会】(9:30～9:40)

3F 武道場(総合司会・冠木)

会長挨拶 天笠 茂

【基調講演】(9:45～10:45)

演題『学習指導要領のこれまで、そして、これからを語る』

—生きる力・言語能力・資質能力—

多摩美術大学理事・教授 常盤 豊

【シンポジウム】(10:50～12:20)

テーマ『次の学習指導要領と「学校裁量の時間」』

—教育課程企画特別部会「論点整理」をもとに—

シンポジスト

・大学教員の立場から	早稲田大学准教授	大村龍太郎
・校長の立場から	京都市立南大内小学校	高田陽子
・教育長の立場から	岐阜市教育委員会教育長	水川和彦
指定討論者	浦和大学客員教授	工藤文三
コーディネーター	千葉大学名誉教授	天笠 茂

昼食・休憩(12:20～13:20)

【自由研究発表】(13:20～15:20)

◆第1分科会 8年1組

◆第2分科会 8年2組

◆第3分科会 8年3組

第1分科会	第2分科会	第3分科会
(司会者) 橋本雅子	(司会者) 小松郁夫	(司会者) 吉村 潔
◎三枝祐紀(長野県大町市立八坂中学校) (25分) 『目指す子ども像に迫る義務教育9年間 を見通した全校研究の推進—長野県初 設分離型義務教育学校 開校期の成果と 課題の考察を通して—』	◎遠藤宏美(宮崎大学) (50分) (共同発表者) 角替弘規・米津英郎・馬居政幸 『超少子化が誘引する日本の公教育(公立 校)再構築の道筋を求めて—学習指導要領 の「前提」から漏れた子どもたちに焦点を 当てて—』	◎戸谷操(市川市立東国分中学校)(25分) 『続「小中一貫教育学校の国語の授業・教室」 —中1、入学期を見つめて—』
◎長谷博文(遠軽町立東小学校)(25分) 『義務教育学校の研究主任が捉えた校内 研修の現状や効果に関する研究—M- GTAを用いた研究主任の変容プロセス の分析—』	◎野ヶ山康弘(京都教育大学附属京都小中 学校)(50分) (共同発表者) 河合晋司・秋月康平 『主体的学びに関するアンケートとその分 析』	◎松井聡(千葉大学教育学部)(25分) 『「一人から始まる4人組の活動」の有効性 その3・令和5年度からの実践を踏まえて』
◎◎澁谷拓(石狩市立南線小学校)(25分) 『義務教育学校法制化10年後の小中一 貫教育における「均質性・多様性」マネ ジメントの課題—地域差や教職員の意識 変容の実態調査を通して—』		◎横江信一(石巻専修大学) (25分) 『コミュニティ・スクールの現状を踏まえた 小中一貫教育の方向性に関する一考察 —小中連携教育の取組を通して—』
◎寺田圭子(岐阜聖徳学園大学)(25分) 『義務教育学校の自走に向けた教育委員 会の役割 —独自教科の開発における 学校への支援の在り方—』		◎笹本博紀(千葉市立海浜打瀬小学校) (25分) 『まちづくりの視点を生かした不登校対策 —スクール・サイドプレスの創出を目指した プレイスメイキング—』

※ カッコ内は発表時間

○ 総 会(15:30～16:00)

4F ランチルーム 総会議長(西野淳)

- | | | |
|-----|----------------------------------|----------|
| 議題1 | ○2024年度活動報告・2024年度収支報告
○監査報告 | 事務局(八重樫) |
| 議題2 | ○2025年度活動計画(案)
○2025年度収支予算(案) | 事務局(八重樫) |
| 議題3 | ○次期会長・副会長及び監事について | 若月副会長 |

○ 閉 会(16:00)